

期 間 入 札 の 公 告

令和 7年12月12日

岡山地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 木 山 真由美

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 8年 1月 8日 午前 9時00分から 令和 8年 1月15日 午後 4時30分まで
開札期日	日 時 令和 8年 1月22日 午前10時00分 場 所 岡山地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 8年 2月12日 午前10時00分 場 所 岡山地方裁判所第3民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、 全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫 の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限(民事執行規 則33条)	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付 した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許 可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができ ます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7年 12月12日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	



物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和7年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1～4	12,835,000 10,268,000	一括	2,570,000	200,988	43,067
1	4,144,000				
2	2,758,000				
3	3,122,000				
4	2,811,000				



物 件 目 録

- 1 所 在 倉敷市児島味野六丁目
 地 番 2896 番 1
 地 目 宅地
 地 積 347.91 平方メートル
- 2 所 在 倉敷市児島味野六丁目
 地 番 2896 番 2
 地 目 宅地
 地 積 231.57 平方メートル
- 3 所 在 倉敷市児島味野六丁目
 地 番 2896 番
 地 目 宅地
 地 積 263.39 平方メートル
- 4 所 在 倉敷市児島味野六丁目 2896 番地
 家屋 番号 2896 番
 種 類 居宅
 構 造 コンクリートブロック造陸屋根 2 階建
 床 面 積 1 階 87.61 平方メートル
 2 階 79.52 平方メートル



物件明細書

令和 7年10月24日

岡山地方裁判所第3民事部

裁判所書記官 木 山 真由美

1 不動産の表示

【物件番号1～4】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号4】

賃借権

範圍 全部

賃借人 C

期 限 定めなし

賃料 1か月3万円

賃料前払 なし

敷 金 なし

保証金 なし

特約なし

上記賃借権は最先の賃借権である。

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号4】

賃借人Cが占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実等を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみが簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。このほか、B I Tのお知らせメニューにも登載されています。



11

物 件 目 録

- 1 所 在 倉敷市児島味野六丁目
 地 番 2896 番 1
 地 目 宅地
 地 積 347.91 平方メートル
- 2 所 在 倉敷市児島味野六丁目
 地 番 2896 番 2
 地 目 宅地
 地 積 231.57 平方メートル
- 3 所 在 倉敷市児島味野六丁目
 地 番 2896 番
 地 目 宅地
 地 積 263.39 平方メートル
- 4 所 在 倉敷市児島味野六丁目 2896 番地
 家屋 番号 2896 番
 種 類 居宅
 構 造 コンクリートブロック造陸屋根 2 階建
 床 面 積 1 階 87.61 平方メートル
 2 階 79.52 平方メートル



現況調査報告書

第 1 分類		枚目
物件目録		1
土地・建物用		2
占有関係用（単独）		3
関係人の陳述等用		4
執行官の意見用		5
調査経過用		6
第 2 分類		
土地建物位置関係図		7
建物間取図		8
写真（1 2 葉）		9 ～ 1 2

岡 山 地 方 裁 判 所
執行官 田 野 口 慎

（注）チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- 1 所 在 倉敷市児島味野六丁目
 地 番 2896 番 1
 地 目 宅地
 地 積 347.91 平方メートル
- 2 所 在 倉敷市児島味野六丁目
 地 番 2896 番 2
 地 目 宅地
 地 積 231.57 平方メートル
- 3 所 在 倉敷市児島味野六丁目
 地 番 2896 番
 地 目 宅地
 地 積 263.39 平方メートル
- 4 所 在 倉敷市児島味野六丁目 2896 番地
 家屋 番号 2896 番
 種 類 居宅
 構 造 コンクリートブロック造陸屋根 2 階建
 床 面 積 1 階 87.61 平方メートル
 2 階 79.52 平方メートル



不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	岡山県倉敷市児島味野六丁目2番48号		
土地	物件1～3		
現況地目	☒ 宅地（物件1～3） ☐ 公衆用道路（物件 ） ☐ （物件 ）		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本土地上に下記建物を所有し、占有している ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物（目的外建物）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）		
その他の事項			
建物	物件4		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である ☐ 公簿上の記載と次の点異なる（ ☐ 主たる建物 ☐ 附属建物） ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類： 構造： 床面積： }		
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☐ その他の者 上記の者が本建物を として使用している ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地（目的外土地）	☒ ない ☐ ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）		
その他の事項			
執行官保管の仮処分	☒ ない ☐ ある { 地方裁判所 支部 令和 年()第 号 保管開始日 平成 年 月 日 }		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面（各階平面図）のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(占有関係用〈単独〉)

占有者及び占有権原 (物件 4 関係)			
占有範囲		■全部 ☐	
占有者		☐ 債務者 ■ C	
占有状況		☐ 敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☒ 居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫 ☐	
■関係人(☐ (占有者) ■ D (占有補助者))の陳述／ ☐ 提示文書()の要旨			
占有権原		■賃借権 ☐ 使用借権 ☐	
占有開始時期		10年くらい前	
最初の	契約日	10年くらい前	
契約等	期間	10年くらい前から ☐ 年 月 日まで 年間 ☒ 期間の定めなし	
更新の種別		☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新	
現在の	期間	10年くらい前から ☐ 年 月 日まで 年間 ☒ 期間の定めなし	
契約等	貸主	■所有者 ☐ その他の者 ()	
当事者	借主	■占有者 ☐ その他の者 ()	
賃料・支払時期等		毎月 金30000円 (毎 限り 分支払) ☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)	
敷金・保証金		■ない ☐ ある (☐ 敷金 円 ☐ 保証金 円)	
特約等		☐ 譲渡・転貸を認める ☐	
その他		建物は、Cが家族とともに住居として使用している	
執行官の意見		■上記のとおり ☐ 下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり	

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(3 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
■ D (占有補助者)	(1) 物件4建物については、所有者から所有者の義理の姉になる私の母親であるCが、10年くらい前から借りており、母親と私が住んでいます。家賃は月30000円で、敷金はありません。 (2) 建物で雨漏りがすることはなく、特に不具合はありません。 (3) 物件4建物の西側の件外土地(2885-7)が、どういう経緯で物件3土地と一体的に使われているのかは分かりません。
■ B (所有者の息子)	(1) 物件4建物の西側の件外土地(2885-7)が、物件3土地と一体的に使われているとのことですが、その経緯は、私は知りません。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

執行官の意見

■

- (1) 物件4建物については、関係人の陳述及び現場の状況から、「占有者及び占有権原」記載のとおり
の占有が認められる。
- (2) 物件1、2土地の「土地建物位置関係図」記載の雑木繁茂と記載している部分には、雑木が生い茂
っており、立入は困難な状況である。
- (3) 物件4建物の西側の件外土地（2885-7：所有者「株式会社ダイマル商事」）は、物件3土地
と一体的に利用されている様子であるが、その経緯については、不明である。
- (4) 物件3土地の北側の道路は、市道（井戸城線）であるが、道路と土地の間に水路（暗渠）が介在し
ている。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

調 査 の 経 過		
調 査 の 日 時	調 査 の 場 所 等	調 査 の 方 法 等
7年 7月 29日 (火) 13 : 35 - 13 : 55	岡山地方法務局倉敷支局	公図閲覧、要約書申請
7年 7月 29日 (火) 14 : 15 - 14 : 35	物件所在地	物件調査 (不在)
7年 7月 29日 (火) : - :		所有者に対し求陳述書郵送 (切手代110円)
7年 8月 4日 (月) 16 : 50 - 17 : 10	当庁執行官室	Dから電話聴取
7年 9月 5日 (金) 13 : 00 - 13 : 45	物件所在地	物件立入調査 (評価人同行)、D面談、間取確認、写真撮影
年 月 日 () : - :		
年 月 日 () : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていると予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち会わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。 ☐		

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

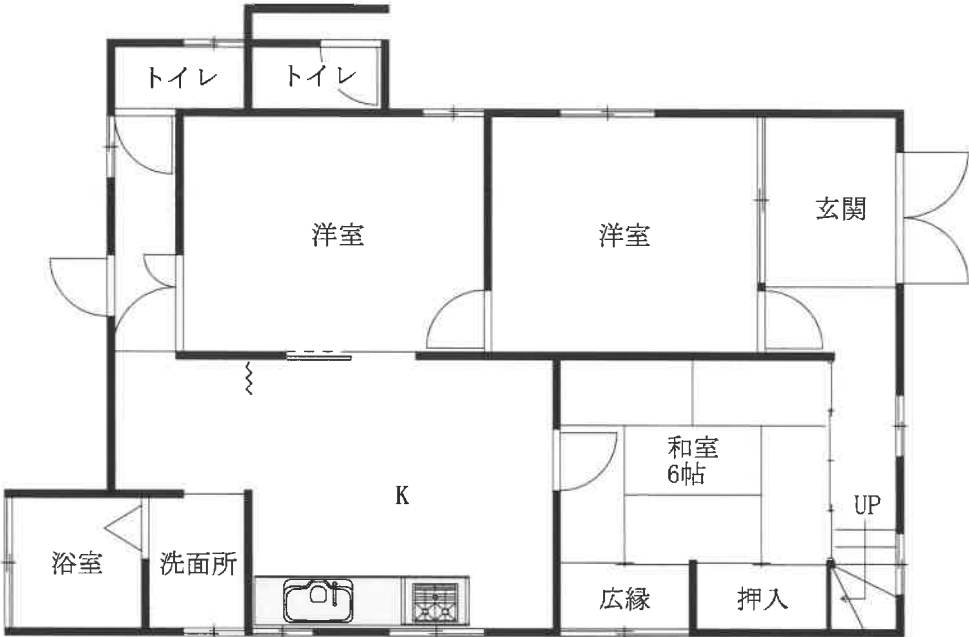
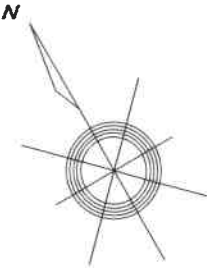
土地建物位置関係図



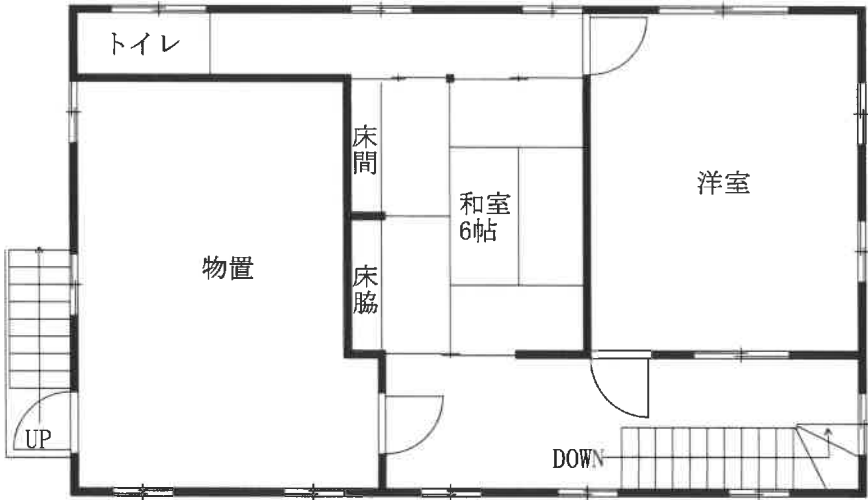
↑ 印は写真撮影位置
○ 方向写真番号

本図は本件土地等の周辺の現況の概略を図示したものであり、形状・規模等の詳細な資料ではない

建物間取図
(物件4建物)



1階



2階

写真1

物件4建物

物件3土地



市道

写真2

物件4建物



市道

写真3

物件4建物

物件3土地



写真 4

物件 2 土地



物件 3 土地

写真 5 (1 階和室 6 帖)



写真 6 (1 階西側キッチン)



写真7 (1階北側洋室)



写真8 (1階浴室)



写真9 (1階トイレ)



写真10 (2階東側洋室)



写真11 (2階和室6帖)



写真12 (2階物置)



評 第 1275 号
令和7年 (ケ) 第 80 号
令和7年9月5日 現地調査
令和7年9月24日 評 価

岡山地方裁判所 第3民事部 御中

評 価 書

評価人 浮田 幹夫

第1 評価額

項目	物件番号	種類	評価額
一括価格	一括 (物件1～4)	土地建物	金 12,835,000 円
内訳価格	1	土地	金 4,144,000 円
	2	土地	金 2,758,000 円
	3	土地	金 3,122,000 円
	4	建物	金 2,811,000 円

- ① 一括価格とは、物件番号記載の各不動産について、一括売却(民事執行法61条本文)を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- ② 内訳価格とは、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- ③ 上記土地の内訳価格は建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、建物の内訳価格は当該土地利用権等価格を建物自体の価格に加算した価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較して競売不動産特有の各種の制約 (売主の協力が得られないことが常態であること、原則として買受希望者が事前に物件に立ち入ることができないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不具合には担保責任がないこと等) 等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件状況の変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

物件番号	種類	所在等		登記	現況
1	土地	所在地	在番目積	倉敷市児島味野六丁目 2896番1 宅地 347.91 m ²	概ね同左。
2	土地	所在地	在番目積	倉敷市児島味野六丁目 2896番2 宅地 231.57 m ²	概ね同左。
3	土地	所在地	在番目積	倉敷市児島味野六丁目 2896番 宅地 263.39 m ²	概ね同左。
4	建物	所在地 家屋番号	種類 構造 床面積	倉敷市児島味野六丁目 2896番地 2896番 居宅 コンクリートブロック造陸屋根2階建 1階: 87.61 m ² 2階: 79.52 m ² 延 167.13 m ²	概ね同左。
物件番号		特記事項			
—					

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等

(物件1及び2の一体画地)

位 置・交 通	JR本四備讃 線 児島 駅 の 北西 方直線約 1,050 m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	倉敷市南部の児島味野六丁目地区に位置し、既成市街地に中規模一般住宅が見られる小学校に近い住宅地域を形成している。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 : 市街化区域 用途地域 : 第1種住居地域 建 ぺ い 率 : 60% 容 積 率 : 200% 防 火 規 制 : 無 その他の規制 : -	
画 地 条 件 (規模・形状等)	規 模 : 579.48 m ² 間 口 : 約 17.5 m (北東側:物件3土地に隣接) 奥 行 : 約32~37m 形 状 : 略台形 接面状況 : 無道路地 地 勢 : 略平坦	
接 面 道 路	方 位: - 幅 員: - 舗 装: - 種 類: - 高低差: - 摘 要: 北東側市道井戸城線との間に物件3土地が介在する	
土地の利用状況及び隣地の状況等	物件2の北東部分は舗装されて駐車場となっているが物件1土地の全部と物件2の南西部分は一体となって雑草が繁茂している状態である。隣地は住宅等である。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : 無 ガス配管 : 無 下 水 道 : 無	※供給処理施設における「有」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管(以下施設管という)が通っており、通常の費用で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「無」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役所での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用出来るかどうか不明な場合をいう。
特 記 事 項	-	

(物件3)

位 置・交 通	JR本四備讃 線 児 島 駅 の 北 西 方 直 線 約 1,050 m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	倉敷市南部の児島味野六丁目地区に位置し、既成市街地に中規模一般住宅が見られる小学校に近い住宅地域を形成している。	
主な公法上の規制等 (道路の幅員等の個別的な規制を考慮しない一般的な規制)	都市計画区分 : 市街化区域 用途地域 : 第1種住居地域 建 ぺ い 率 : 60% 容 積 率 : 200% 防 火 規 制 : 無 その他の規制 : 市道に接する北東部分が都市計画道路白馬塩生線(3・2・倉210)の用地に該当する可能性がある。	
画 地 条 件 (規模・形状等)	規 模 : 263.39 m ² 間 口 : 約 15.6 m 奥 行 : 約 15.0 m 形 状 : 略正方形 接面状況 : 中間画地 地 勢 : 略平坦	
接 面 道 路	方 位: 北東 幅 員: 約 5.5m 舗 装: 有 種 類: 市道 高低差: 略等高 摘 要: 42条1項道路 井戸城線	
土地の利用状況及び隣地の状況等	物件3土地は物件4建物の敷地として利用されている。隣地は住宅等である。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : 無 ガ ス 配 管 : 無 下 水 道 : 無	※供給処理施設における「有」とは、対象物件の前面道路に該当施設の本管(以下施設管という)が通っており、通常の費用で敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「無」とは、対象物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理を利用している場合や、役所での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用出来るかどうか不明な場合をいう。
特 記 事 項	接面市道との間に水路(暗渠)が介在する。西側隣接地(2885-7)に物件4建物の下屋がはみ出しており、物件3土地と当該西側隣接地は一体的に利用されている状況にある。	

2 建物の概況及び利用状況等

(物件4)

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建 築 年 月 日 : 昭和31年頃 (登記上) 経 過 年 数 : 70 年 経済的残存耐用年数 : 2 年 (主体部分) 増 改 築 時 期 : 昭和33年頃 増築 (登記上)
仕 様	外壁 : モルタルセメント仕上等 天井 : ボード貼り等 内壁 : ボード貼り等 床 : フローリング、タタミ等 その他: -
建 物 の 品 等	中上品等
床面積 (現況)	前記「第3目的物件」欄記載のとおり
現 況 用 途 等	現 況 用 途 : 前記「第3目的物件」欄記載のとおり 間 取 : 現況調査報告書記載のとおり
保守管理の状態	普通
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり
特 記 事 項	西側に下屋があり、物件3土地西側隣接地(2885-7)にはみ出している。

第5 評価額算出の過程

I 積算価格の試算

1 基礎となる価格

① 土地

対象物件が所在する地域の標準画地価格を求め、これに評価対象地の個別格差修正及び必要に応じて建付減価補正を行い土地価格を判定した。

i 標準画地価格の査定

(標準画地の概要) (A 地域)

種 別 : 住宅地
 街路 幅員 : 約 5.5m
 地 積 : 約 200 m²
 間口・奥行 : 約13m×約16m
 形 状 : 略長方形
 高 低 差 : 略等高
 接面 状況 : 中間画地
 そ の 他 : -

地域符号	公示価格等 (円/㎡) ア	時点修正 イ	標準化補正 ウ	地域格差 エ	規準価格等 (円/㎡) オ	標準画地価格 (円/㎡) カ
	42,500	$\frac{100}{100}$	$\frac{100}{100}$	$\frac{100}{98}$	43,400	43,400
A	基準地 倉敷(県)-23	公示価格 等の価格 時点から 評価日ま での推定 変動率で ある。	公示地等 の画地条 件を標準 的なもの に補正した。	街路条件、交 通接近条件、 環境条件、行 政的条件等の 格差を考慮の うえ査定した。	オ:ア×イ×ウ×エ	規準価格等を参考に周 辺取引事例等を検討の うえ査定した。

ii 建付地等の価格

物件番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	持分割合 ウ	地積 (㎡) エ	建付減価補正率 オ	建付地等価格 (円) カ
	43,400	0.392	1/1	579.48	1.00	9,860,000
1・2 (一体画地)	A地域	形状 0.98 無道路地 0.50 整地コスト 0.80 相乗積 0.392	-	登記数量	地域との適合性・ 敷地との適応性 等を考慮のうえ 査定した。	カ:ア×イ×ウ×エ ×オ

物件番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別格差 イ	持分割合 ウ	地積 (㎡) エ	建付減価補正率 オ	建付地等価格 (円) カ
3	43,400	0.918	1/1	263.39	0.85	8,920,000
	A地域	方位 1.02 隣地越境等 0.90	-	登記数量	地域との適合性・敷地との適応性等を考慮のうえ査定した。	カ:ア×イ×ウ×エ×オ
		相乗積 0.918				

② 建物

当該建物の再調達原価を求め、これに耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用した減価修正を行って、建物価格を判定した。

物件番号	再調達原価 (円/㎡) ア	持分割合 イ	現況延床面積 (㎡) ウ	現価率 エ	建物価格 (円) オ
4 (主建物)	150,000	1/1	167.13	0.02222	560,000
	建物建築費の推移動向、消費税の課税等も考慮した標準的な建築費に比準して求めた。	-	登記数量	耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用して査定した。	オ:ア×イ×ウ×エ
計					560,000

2 積算価格の判定

前記により求めた価格に、必要に応じて、土地については土地利用権等を考慮した底地等割合を乗じ、建物については土地利用権等価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり積算価格を求めた。

① 土地価格及び底地価格

物件番号	建付地等価格 (円) ア	底地等割合				土地価格・底地価格 (円) エ:ア×イ×ウ
		細符号	制約権利等	イ 面積割合	ウ 底地等割合	
1・2 (一体画地)	9,860,000	-	無	1.000	1.00	9,860,000
		計	-	1.000	-	9,860,000
3	8,920,000	-	法定地上権	1.000	0.50	4,460,000
		計	-	1.000	-	4,460,000

② 土地内訳価格

物件番号	一体画地の底地価格 (円) ア	各物件の面積割合 イ	各物件の内訳価格 (円) ウ:ア×イ
1	9,860,000	60.0%	5,920,000
2		40.0%	3,940,000

③ 土地利用権等価格

物件番号		建付地等価格 (円) ア	土地利用権等割合				土地利用権等価格 (円) エ:ア×イ×ウ
建物	土地	ア	細符号	土地利用権等	イ 面積割合	ウ 権利等割合	エ:ア×イ×ウ
4	3		-	法定地上権	1.000	0.50	
		8,920,000					4,460,000
			計	-	1.000	-	4,460,000

④ 土地利用権等付建物価格

物件番号	建物自体の価格 (円) ア	土地利用権等価格 (円) イ	土地利用権等付建物価格 (円) ウ:ア+イ
4	560,000	4,460,000	5,020,000

⑤ 内訳価格及び一括価格(積算価格)の査定

物件番号	底地価格及び土地利用 権等付建物価格 (円) ア	占有減価修正 イ	市場性修正率 ウ	競売市場 修正率 エ	その他減価 オ	積算価格 (円) カ
1	5,920,000	-	1.00	0.70	1.00	4,144,000
2	3,940,000	-	1.00	0.70	1.00	2,758,000
3	4,460,000	-	1.00	0.70	1.00	3,122,000
4	5,020,000	1.00	0.80	0.70	1.00	2,811,000
一括 (物件1～4)	19,340,000	-	-	-	-	12,835,000
	上記①②③④参照。	必要なし	物件4建物が占有されていることによる市場性の減退等を考慮のうえ査定した。	不動産競売市場の特殊性等を考慮のうえ査定した。	必要なし	カ:ア×イ×ウ×エ×オ

II 収益価格の試算

対象不動産の所在する地域における賃貸借の動向、対象不動産の用途及び個別性等を考慮すると、対象不動産が賃貸借に供せられることは一般的であるとはいえない。従って、収益還元法を適用しなかった。

III 評価額の決定

以上により求めた積算価格を妥当なものと認め採用し、本件評価額を標記のとおり決定した。

第6 参考価格資料

1 地価公示価格等

地域符号 : A
番 号 : 倉敷(県)-23
所 在 : 倉敷市児島味野城2丁目2073番1
価 格 : 42,500 円/㎡
位 置 : 児島1300m (道路距離)
価格時点 : 令和7年7月1日
地 積 : 243 ㎡
供給処理施設 : 水道、下水
接面街路 : 北4m市道
都市計画区分 : 市街化区域
用途指定等 : 1住居 (60、200)
地域の概要 : 中規模一般住宅を中心とする住宅地域

2 固定資産税評価額 (令和 7 年度)

物件番号	種類	固定資産評価額	摘要
1	土地	7,699,248 円	
2	土地	5,124,644 円	
3	土地	5,828,820 円	
4	建物	1,299,557 円	

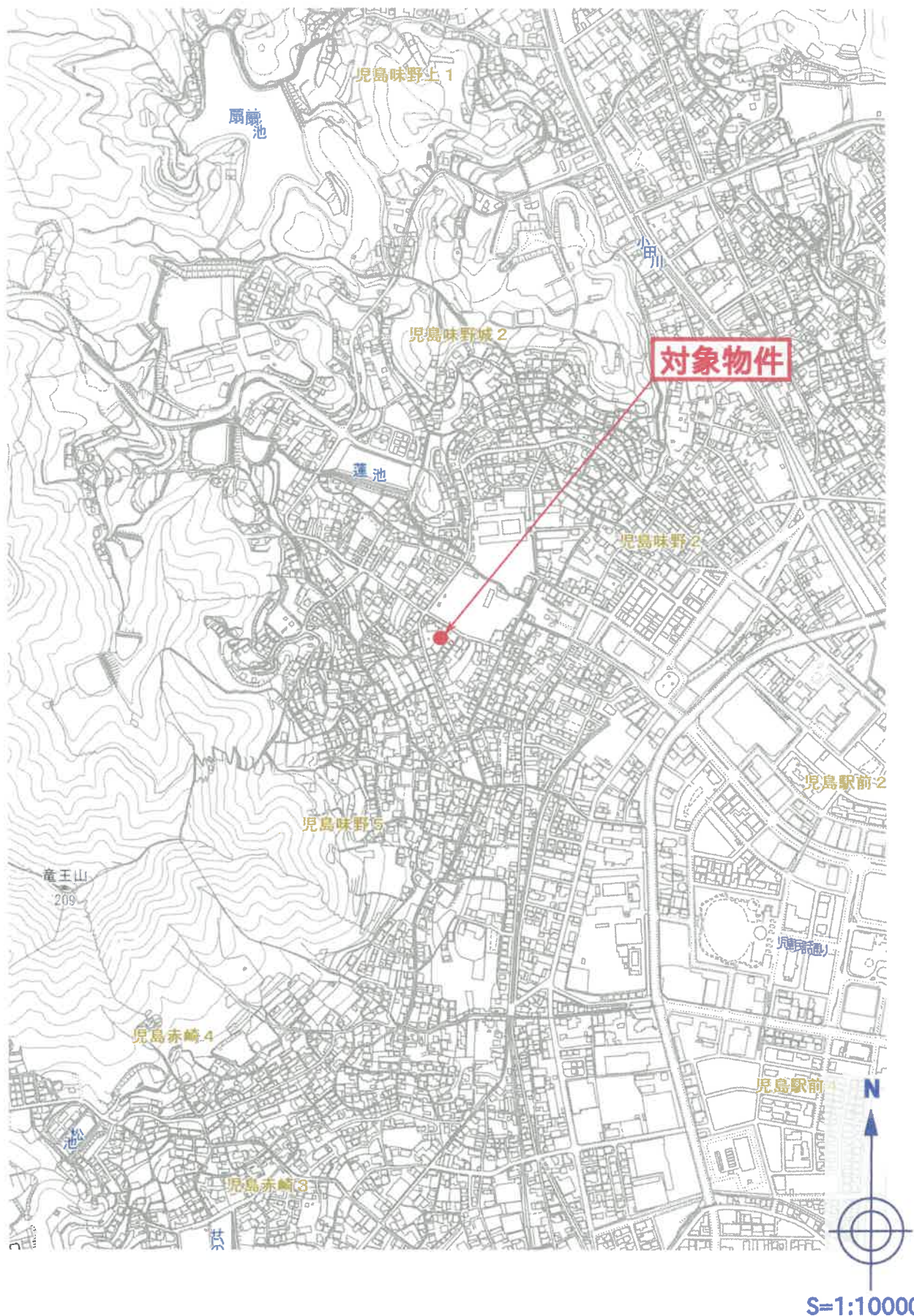
※ 参考価格資料のうち地価公示価格等は、当該不動産の評価額を算定するに当たって参考とした価格である。決定した評価額は不動産競売を前提とした価格であり、固定資産評価額とは、その性質を異にしている。

第7 附属資料の表示

- 1 位置図
- 2 公図写
- 3 建物図面写
- 4 土地建物位置関係図

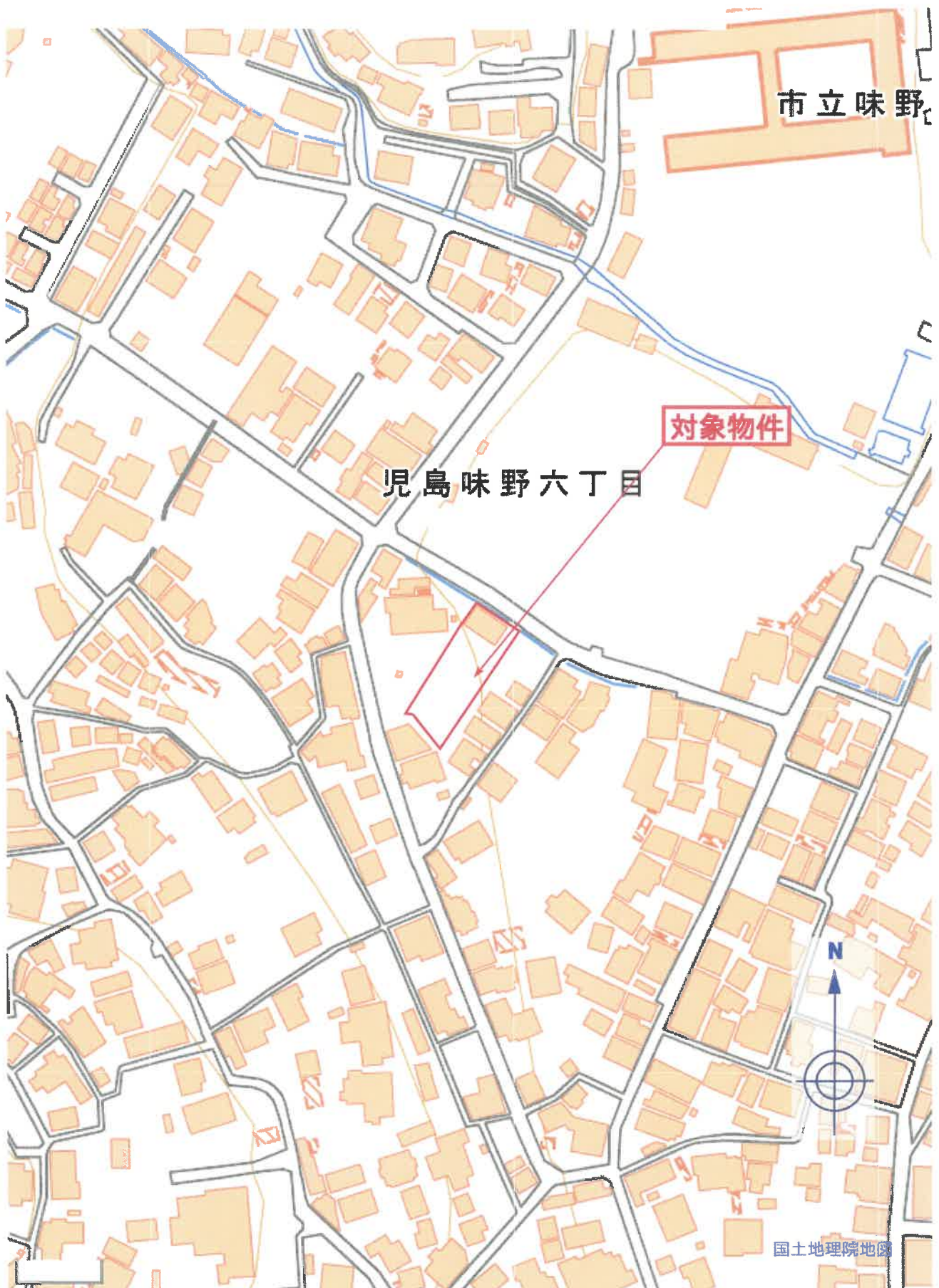
以 上

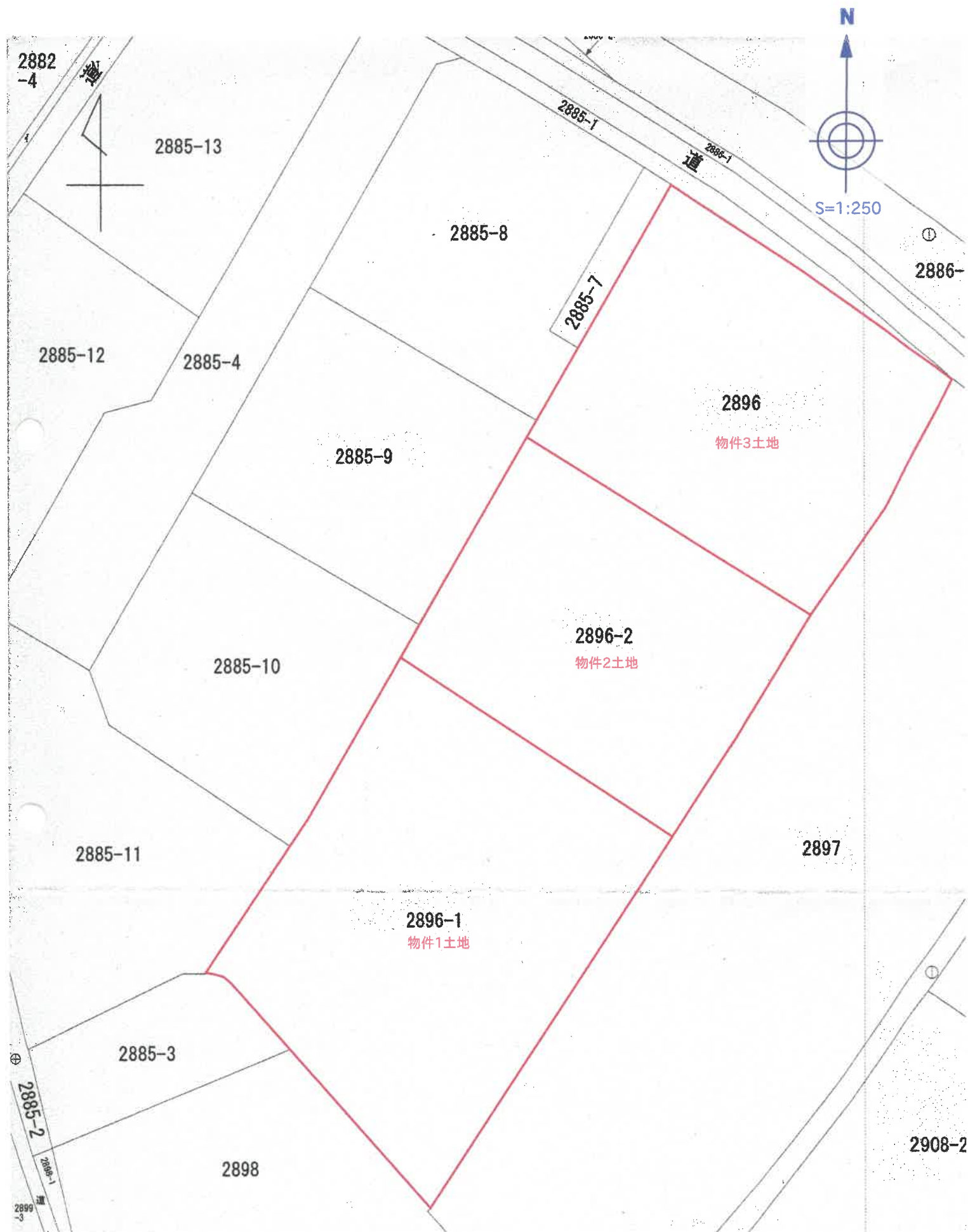
位置図



倉敷市統合型GIS「都市計画参考図」

位置図





土地建物位置関係図



本図は本件土地等の周辺の現況の概略を図示したものであり、形状・規模等の詳細な資料ではない